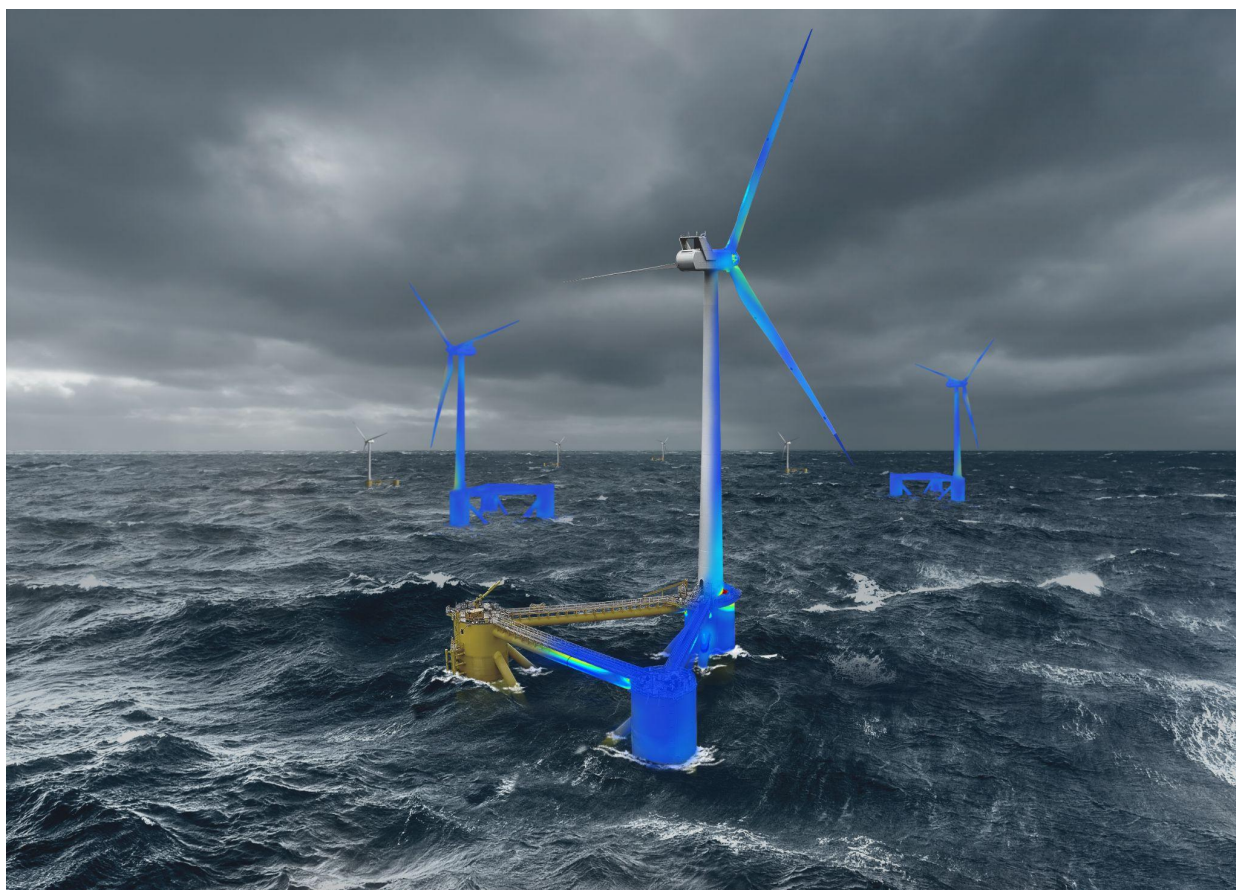


ENECHANGE、洋上風力のデジタルツイン技術を有するスイス本社のベンチャー企業「アクセロス」へ脱炭素テックファンドを通じて出資

ENECHANGE株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役CEO：城口 洋平、代表取締役COO：有田 一平）は、運営参画する海外特化型の脱炭素テックファンド「Japan Energy Fund（以下、「JEF」）」を通じて、Akselos SA.社（以下、アクセロス）に出資したことをお知らせします。

アクセロスは、スイスと米国に本社を置き、風力タービンを含む世界のエネルギーインフラの運用効率と安全性を向上させる、世界最先端のエンジニアリングシミュレーションと構造物のデジタルツイン技術を開発しています。デジタルツイン技術とはセンサーやIoT機器、カメラなどで現実世界の情報を大量に収集し、デジタル空間に物理空間の双子（コピー）を再現する技術です。デジタルツインの活用により、アクセロスは、今回の資金調達で約20億円（16.5M USD）※を調達しており、JEFのほかにアジア有数のプライベート投資会社であるAT Capital、ドイツのエネルギー大手企業E.ON（エーオン）のベンチャーキャピタルFuture Energy Ventures、欧州のオイルメジャー・シェルのベンチャーキャピタルであるShell Venturesなどが出資しました。

※1USD=120円



アクセロスのデジタルツイン技術のイメージ図（アクセロス提供）

■背景

風力発電の世界的リーダーである欧州では、洋上風力発電の利用が急速に進んでいます。日本では、2050年までに脱炭素社会を実現するために、2030年までに自然エネルギーを飛躍的に拡大し、持続可能なエネルギーにシフトすることが求められています。その持続可能な電源の一つとして洋上風力への期待は大きく、2050年には全体の18%※を供給すると見込まれています。同社が開発した洋上デジタルツイン技術を活用することで、洋上風力発電の大幅な普及を支えるとともに、風車の設計を改善してエネルギーの平準化コストを押し下げる可能性があると考えています。

※ 出典 財団法人自然エネルギー財団「風力発電-2030年に向けたエネルギー目標のあり方」（2021年3月15日掲載）

■アクセロスについて

2012年に設立されたアクセロスは、先進的なエンジニアリング・シミュレーション技術とデジタルツイン技術を開発するスイス本社のベンチャー企業です。欧州、米国、東南アジアで事業を展開している同社の製品は、特に大型重要資産をリアルタイムでの監視を可能にしたことで、重要なエネルギーインフラの保護に役立つよう設計されています。マサチューセッツ工科大学での15年にわたる研究と米国国防総省の資金援助により開発された特許取得済みのアルゴリズムを使用するアクセロスの構造デジタルツイン技術は、エネルギー分野における設計の最適化、運用コストの削減、老朽化した資産の寿命延長を可能にします。アクセロスは、世界経済フォーラムから2020年のテクノロジー・パイオニアに選ばれています。

アクセロスウェブサイト：<https://www.akselos.com/>

■関係者のコメント

ENECHANGE株式会社代表取締役CEO 城口 洋平

AT CapitalやShell Venturesとともに、アクセロスの投資ラウンドに参加できることを嬉しく思います。アクセロスは、商用化として採用された実績があり、有用な技術であることを実証してきており、今回の投資を皮切りに協力関係を構築し、日本市場におけるアクセロス社の発展を支援することで、当社のビジネスを拡大する機会があると期待しています。

アクセロスCEO Thomas Laurent氏

アクセロスは、エネルギー分野において効率的な運用と保守の意思決定を支援する堅牢なプラットフォームを構築し、資産の設計を革新的に促進するエキスパート集団です。クリーンエネルギー革命に積極的に取り組んでおり、今回の投資は日本市場において2030年までに風力発電を増やすという目標達成を支援するための素晴らしい一歩だと考えています。2018年以降、当社は前年比100%以上の成長を遂げ、世界各国90人以上のメンバーが活躍しています。2050年にネットゼロを達成するために、専門家チームを拡大し、世界をリードする技術を開発することに引き続き尽力していきます。グローバル投資家による今回の投資は、世界中のエネルギー産業においてアクセロスの展開を加速することになると期待しています。

■Japan Energy Fundの目的と投資方針

本ファンドは、「日本企業による海外への脱炭素エネルギー投資促進」を通じて、持続可能な社会の実現を目指します。エマージング諸国の再生可能エネルギー事業への投資を行う「JEF Renewables」と、電力ビジネスの先進国である欧米諸国等において先端技術を有するエネルギー系スタートアップへの投資を行う「JEF Ventures」の2軸で取り組み、これらエネルギー分野への投資を通じて、本ファンドが定めるSDGsの5つの目標に対して集中的に取り組むことで持続可能な社会の実現を目指します。

ウェブサイト：<https://japanenergy.fund/>

■脱炭素テックファンド（JEF）の概要

ファンド名称	Japan Energy Capital 2号ファンド（英名：Japan Energy Capital 2 L.P.） 通称：脱炭素テックファンド（JAPAN ENERGYファンド「JEF」）
ファンド組成日	2021年9月30日
投資方式	キャピタルコール方式
投資対象	脱炭素分野の海外エネルギーベンチャー企業
ファンド規模	50百万USドル
運用期間	2031年9月まで
無限責任組員	Japan Energy Capital 合同会社
有限責任組員 ※2021年9月30日時点	ENECHANGE株式会社 BIPROGY株式会社（旧日本ユニシス株式会社） 東芝エネルギーシステムズ株式会社

脱炭素テックファンド設立に関するプレスリリース（2021年9月30日）

<https://enechange.co.jp/news/press/decarbonized-tech-fund/>

■ENECHANGE株式会社

ENECHANGE（エネチェンジ）は、「エネルギーの未来をつくる」をミッションに掲げ、脱炭素社会をデジタル技術で推進する脱炭素テック企業です。2015年創業、2020年東証マザーズ（現、東証グロース）に上場（証券コード4169）し、「エネルギーの4D（自由化・デジタル化・脱炭素化・分散化）」分野でのSaaS事業を中心に急成長を実現しています。当社のルーツは、自由化先進国のイギリス・ケンブリッジでの電力データ研究所にあり、現在もイギリスに子会社SMAP ENERGY LIMITEDを有しており、エネルギーデータの解析技術とグローバルなネットワークが特徴です。

名称 : ENECHANGE株式会社

所在地 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル3階

URL : <https://enechange.co.jp>

■報道関係のお問い合わせ先

ENECHANGE株式会社 広報担当：中田

Mail : pr@enechange.co.jp

ENECHANGE株式会社 IR担当：宮崎

Mail: ir@enechange.co.jp

※本プレスリリースは、ENECHANGE、BIPROGY株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社による投資運用業務の提供や特定の運用商品の勧誘を目的とするものではありません。

ENECHANGE、BIPROGY株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社は、本プレスリリースにより上記のファンド等について勧誘を行うものではありません。